

さらに、江東区議会公明党の提案事項の多くが続々実現へ!

障害者スポーツ・アート活動の経費を補助へ!

障害者(児)施設に、障害者スポーツの体験等に関する経費や、パラリンピックを題材としたアート活動に関する経費を補助し、

東京2020パラリンピック競技大会の気運醸成や、共生社会の実現を推進していきます。



▲障害者スポーツフェスタの風景



▲木場公園の敷地内に建てられた「MIWA木場公園保育園」

認可保育園を整備し、約1000人の定員増へ!

江東区はここ5年間で5万人以上も人口が増え、子育て世帯もまた急増しています。この認可保育園の需要増に迅速に対応するため、

区有地を活用した民設民営による保育施設の整備などにより、毎年約1000人の認可保育所の定員増を推進していきます。

児童向け複合施設等の整備が決定!

児童会館の敷地を活用し、子ども家庭支援センターとこどもとしょかんの機能を有する、こどもや子育て家庭を対象にした複合

施設を整備することが決定されました。また、その敷地に特別養護老人ホームの整備も決定されました。



▲今後整備が進む江東区児童会館(住吉1丁目)



地域のリハビリ活動支援や憩いの場を拡充へ

住民運営の通いの場(いきいきサークル)へ、リハビリ専門職を派遣し、自立支援への取り組みを促し、自立支援や介護予防につな

げます。また、ご近所ミニデイを新たに追加、高齢者への多様なサービスの充実と地域住民同士の醸成を目指します。

4月1日 豊洲ぐるり公園が全面開園

昨年7月7日より部分開園していた豊洲ぐるり公園が4月1日より全面開園しました。約15ヘクタールの広大な面積で、豊洲ふ頭をぐるりと周遊できます。



▲豊洲ぐるり公園北側の風景



区民相談、法律相談はお気軽に…江東区役所3階 江東区議会公明党相談室にて実施
区民相談は ☎3647-9111 (内線3541~3) <http://www.kotokomei.ne.jp/>



5月	6月	7月	8月
11・25	8・22	13・27	お休み
法律相談は毎月、第2・4金曜日を基本に、当日受付順にて、午後2時より実施しています。			

江東区議会公明党 区政レポート

春季号
2018



平成30年5月14日発行【第155号】／発行責任者：磯野繁夫 江東区亀戸4-12-3

公明党は皆様の声にお応えしています

スマートフォン用「防災マップ」アプリの機能拡充へ!



スマートフォン用の「防災マップ」アプリは区民の皆さんへの安心安全確保のため、世帯単位から個人単位での活用をしやすいようにするために現在機能拡充に取り組んでいます(平成30年度中にアプリを提供予定)。平成30年度は紙ベースの防災マップを更新するため、「防災マップ」アプリも機能も併せて帰宅困難者や水害ハザードマップの機能拡充が行われます。

【区民モード】

従来通り、最寄りの避難所を表示します。

【帰宅困難者モード】

一時滞在施設(都立高校など)や災害時帰宅支援ステーション(コンビニなど)などを表示します。

【水害ハザードマップ】

水害の危険性が高まった際の避難方法や避難場所などの情報を事前に確認できるようになります。

◆「防災マップ」アプリの機能拡充イメージ



※デザイン・内容等は変わる場合があります。

江東区議会公明党は、ネットワーク政党ならではの強みを生かし、区、都、国が連携して、皆様の安全・安心・快適な暮らしを実現してまいります。



代表質問より(要旨)



新生児の聴覚検査費用の助成を推進へ!

新生児の先天性難聴は、早期の発見により補聴器や人工内耳を装着することで影響が最小限に抑えられるとしています。この新生児聴覚検査を受診しやすくするための費用助成に関する本区の対応について質問しました。

健康部長からは、全ての新生児のスクリーニング検査と精密検査の実施と把握、また、聴覚障害児の療育機関への適切なつなぎの実施等、早期の実施に向け検討を進めてまいりますとの答弁がありました。



住宅確保要配慮者の住宅支援を積極的に推進へ!



住宅確保要配慮者への住宅支援については、セーフティネット制度を活用して、長寿応援課や地域ケア推進課と連携を取りながら施策を展開できるよう、積極的に住宅支援を推進してはと質問しました。

都市整備部長からは、貸し主へのインセンティブや住宅セーフティネット制度への本区の対応等、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進する新たな方策を検討してまいりますとの答弁がありました。



マンションを活用した在宅避難への取り組みを推進へ!

災害時における避難所の収容人数は人口の約3割位といわれている中、防災対策マンションを活用した在宅避難への取り組みは非常に重要と考えますが、本区はどのように考え取り組んでいくのかを質問しました。

区長職務代理からは、年4回の総合防災訓練地域訓練の際には、マンション災害協力隊も参加。地域が一体となって、マンションを含む地域がより連携を深められるよう対策を講じてまいりますとの答弁がありました。



(マンションイメージ写真)

◆上記以外の代表質問

- ①都区財政調整・行財政改革について
 - ・特別区交付金の見込額について
 - ・都区財調の新規算定について
 - ・新たな技術や材料の導入について
 - ・物品調達のコスト削減について、他

- ②住宅セーフティネットについて
 - ・民間賃貸住宅のあっせん事業について
 - ・大家さんへの取り組みについて、他
- ③防災のマンション活用について
 - ・家具の転倒防止や備蓄への積極的な取り組みについて

- ・地域連携など、在宅避難に対しての課題への取り組みについて、他
- ④「ゆりかご・江東事業」について
 - ・「ゆりかご・江東事業」の今後の施策について
 - ・産後の初期段階における産婦健康診査費用の助成について、他

一般質問より(要旨)



ひきこもりの高齢化に対する取り組みの推進を!

ひきこもりから脱出した人からピアサポーターとして登録をしてもらい、支援を行っている所もあります。当時者の心を知ることができ、良き理解者として自立へとつながると考えるがどうか質問しました。

区長職務代理からは、本区でひきこもり等支援事業の中で以前実施した、元当事者の協力によるひきこもり支援講演会・交流会等の内容も踏まえ、サポートを実施していきたいとの答弁がありました。



マイス MICEで集った来訪者を区内観光へ誘客を!



▲東京ビッグサイトの外観

本区では、観光推進プラン後期に新たな集客ビジョンとして、MICE(会議や学会・展示会など)来訪者もターゲットにしています。区内への誘客のために区ならではの取り組みについて質問しました。

地域振興部長からは、会議などの特定目的をもった来訪者が観光に目を向けるための一方策として、江東区ならではの水辺環境や民俗芸能など、歴史や文化に触れられる新たな取り組みやPR活動が必要であるとの答弁がありました。



口腔がんの早期発見・早期治療の推進を!

おとなの歯科検診には口腔粘膜のチェックがあり、他区では口腔がん検診も実施されています。口腔がんは早期発見がしやすいがんであり、その取り組みについて質問しました。

健康部長からは、口腔がんの殆

どは目で確認できるため、おとなの歯科検診や日常診療の場での早期発見に向けた歯科医療従事者への研修を行うとともに、区民に対して、口腔がんの早期発見の重要性について普及啓発を行うとの答弁がありました。



◆上記以外の一般質問

- ①地域福祉向上について
 - ・40歳代50歳代ひきこもり相談窓口について
 - ・KHJ全国ひきこもり家族会連合会との連携について

- ・ひきこもりの実態調査について
- ・地域福祉コーディネーターの拡充について、他
- ②観光推進について
 - ・フィルムコミッションの情報発信について
 - ・江東区観光協会と、ことみせとの連携について

- ・東京ビッグサイトのコミケ来場者などの江東区内への誘客について、他
- ③健口こうとうについて
 - ・おとなの歯科検診について
 - ・生活歯援プログラムについて
 - ・口腔がん後の相談や支援について